

センター通信

ひとみ輝き、笑顔あふれる学校に！



伊丹市立鴻池小学校

校長 宮谷 和教

本校の学校教育目標は、「ひとみ輝き 笑顔あふれる 鴻池小学校～『やってみよう！』と言える子どもを育てる～」です。「ひとみ輝き」とは、自ら進んで自分の持てる力を伸ばそうとする姿勢、新たな挑戦、目標へ向けての挑戦など、自分自身が成長しようというときに、失敗を恐れずにひとみを輝かせてチャレンジします。そして、「笑顔あふれる」とは、「勉強がわかった」、「できなかったことができた」、「友だちと仲良くできた」、「認められた」など、うれしいときに思わず笑顔になります。その笑顔は、「学校って楽しいな」や「明日も学校に行きたい」につながるものです。そのためには、自分自身の可能性に蓋をするのではなく、まずは「やってみよう」というポジティブな意欲を持たせることです。どんなに苦しいことがあっても逃げずに乗り越えることができた経験は、自身の肯定感につながるとともに、自己有用感を高めることとなります。「人の役に立った」、「人から感謝された」、「人から認められた」という「自己有用感」は、自分と他者との関係を自他共に肯定的に受け入れられ、「社会性の基礎」ともなります。

どの子ども「誰かの役に立ちたい」、「喜ばれたい」、「認められたい」という気持ちを持っています。学校における異学年交流、遊びを通じた交流や清掃活動、委員会活動、クラブ活動、体育大会など様々な学校での活動が自己有用感の獲得に影響しています。そのため本校では、子どもたちが主体的に自ら考え、自分の思いを表現し、協働的な学びとなるよう授業改善に取り組み、子どもたちが主体的に活動できる学校行事に取り組んでいます。

また、登下校時に見守り隊の皆さんやPTAの皆さんが「おはよう」や「おかえり」など、声をかけてくれます。毎日の活動なので、子どもたちとも顔見知りになって、いつになく元気がない児童には、「どうした？元気がないよ」など、優しい声もかけていただいています。子どもたち一人ひとりの存在を認め、ひいては、子どもたちの健全育成につながっている重要な活動です。

すべては、「ひとみ輝き 笑顔あふれる 鴻池小学校」をめざしての取り組みです。目標の達成に向けて、地域や家庭と目標を共有し、連携を深めながら進めることで達成できるものと考えています。未来を担う子どもたちの健全育成のために、引き続き地域、家庭、学校が一つになって、地域の子どものあたたかく見守る体制づくりに努めてまいります。

ひょうごスマホ宣言2021

<時間>

忘れてない？ 時間は有限だってこと

<危険性>

まだ知らない 画面の奥の人の気持ち

<フィルタリング>

スマホの戸締りできていますか？

<人間関係>

その言葉 顔見て相手に 言えますか？

下記の表は各地区補導委員が「声かけ」等をした人数(暫定値)です。

4月(暫定値)	幼児少学生	中学生	高校生その他	大人
声かけ	629	60	38	193
あいさつ	1510	99	97	354
遊び関ると	8	10	6	0
愚痴関ると	0	0	0	0
交通関ると	2	0	11	10

食事・運動・睡眠は健康の三本柱

脳神経科学を研究されている早稲田大学理工学術院の枝川義邦教授は「食事・運動・睡眠は健康の三本柱で、特に成長段階の子どもに睡眠は特に重要である。睡眠時に分泌される成長ホルモンは体の成長に欠かせず、10代であれば8時間は睡眠が必要である。」と提言されています。また、睡眠は人間関係や学習からくる精神的なストレスから生じる疲労の回復にも非常に役に立つそうです。

さて、初代 iPhone が登場したのが10年ほど前ですが、今やスマートフォン所有率は80%近くになっています。よく言われることですが、就寝前のスマホは睡眠にとって大敵です。その理由として次の2つのことが挙げられます。

1つ目は就寝前にスマホを見ることで内容によって神経が高ぶってしまうことがあります。メールやSNSのやり取り、ネットニュースや動画などで面白い記事を見つけてしまうと興味がどんどんそちらに向いてしまい、結果、神経が興奮状態になってしまい、眠れなくなることがあります。

2つ目はスマホから発せられるブルーライトが就寝に悪影響を及ぼすからです。人間は夜になると「メラトニン」というホルモンが出て眠くなるようにできています。ところが、ブルーライトが目に入ったという情報が脳内に届くとメラトニンが出なくなって、結果、眠気が薄れてしまったり、眠りが浅くなってしまったりします。ブルーライトは目を疲労させるだけでなく、眠気を失くす作用があります。

成長段階にある子どもの理性をつかさどる前頭前野は十分に成熟しておらず、スマホ依存のブレーキ力が弱い状態にあります。私たち大人もそばにあれば、ついスマホの音に反応して見てしまうことがあります。子どもならなおさらです。睡眠の妨げとなるスマホを就寝1~2時間前には使用しない、ベッドに持ち込まない等の対策が必要ではないでしょうか。子どもたちがバランスのよい食事を摂り、適度な運動を行い、そして十分な睡眠で健康に育つよう願うばかりです。

相談活動(4月)

- ・電話 5 件
- ・来所 1 件
- ・メール 0 件

子どもと保護者のためのなやみ相談窓口

<電話相談>	☎ 072-770-8742
月曜日~金曜日(年末年始・祝日を除く)	10:00~17:30
<来所相談>(要予約)	☎ 072-780-3540
月曜日~金曜日(年末年始・祝日を除く)	10:00~17:00
<メール相談>	aigo@itami.ed.jp
または、当センターHPのメールフォームをご利用ください	

有害図書回収(4月)

- ・有害図書 79冊
- ・有害AV 292個

白ポスト設置場所【市内15ヶ所】

- ・車塚公園
- ・中野西公園
- ・裁判所前
- ・伊丹ホール
- ・南センター
- ・北センター
- ・阪急稲野駅
- ・阪急伊丹駅
- ・阪急新伊丹駅
- ・JR伊丹駅
- ・JR北伊丹駅
- ・荒牧バス停
- ・西森津バス停
- ・山田バス停
- ・バラ公園バス停

4月の事案 (少年愛護センターへの通報・ひょうご防犯ネット情報)

日:時刻	場所(事案)	概要	一行為者確保・警告等があったものには☆印
2:18:20	中央1(チカン)	徒歩女子児童に、後方から近づき、体を触り、逃走。	
16:13:56	大野2(声かけ)	徒歩女子児童に、「今から帰るの?右から?左から?」と声をかけ立ち去った。	
20:13:30	春日丘3(露出)	下校中女子児童が下半身を露出させている男を自撃した。	
20:17:00	美鈴町1(つきまとい)	徒歩通行中女子児童の後方を男が自転車でつきまとった。	
22:15:30	野間北3(つきまとい)	自転車通行中女子高生の後ろを軽四自動車低速でつきまとった。	

<5月の主な行事>

10(月)	広報啓発活動・一斉補導	書面開催	伊丹市少年育成協会 総会
21(金)	兵庫県青少年補導委員連合会 運営委員会	中止	伊丹市少年育成協会 研修会
24(月)	有害図書回収	書面開催	兵庫県青少年補導センター連絡協議会
延期	伊丹市少年補導委員実務研修会		総会・理事会・所長会
中止	伊丹市少年補導委員連合会 役員会	書面開催	兵庫県青少年補導委員連合会
中止	伊丹市少年補導委員連合会 定例理事会		総会・理事会・会長会

*「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター (Tel 072-780-3540) までお寄せください。